



自身も被災地支援の経験がある三澤社長。「水が出るのは“当たり前”じゃないんです」

工事からスタートしたアクアシテムは、徐々に事業規模を拡大し、下水道の施設工事や大規模な管工事も担うようになった。昭和40年代以降には、高級特殊鋼「ヤスキハガネ」を生み出している地元大手工場《株式会社プロテリアル》の工業用水や冷却水などのパイプライン配管を受注。官民に高まる需要に対応す

月の能登半島地震で断水が大規模かつ長期化したことも記憶に新しく、被災地には当社の社員も駆けつけて復興の一端を担った。老朽管の更新が進まない理由の一つが、地下の状況が不明瞭なことだ。三澤孝志社長(51)は、「設置当初の正確な図面がなく、掘ってみたら暗渠や下水にぶつかって迂回せ



水道管敷設の準備をする工務部の社員。丁寧な仕事で地域のインフラを守る

蛇口をひねれば、いつでもきれいな水が出てくる——そんな暮らしの“当たり前”を支えているのが、安来市に拠点を置く《アクアシステム株式会社》だ。上下水道の各種施設から、地元大手工場のプラント配管、公共施設の空調・換気・消火設備、個人宅の水回りの工事などで、暮らしに欠かせない水に関わる幅広い事業を展開している。



(上)アクアシステム株式会社の本社(下)社長と社員の距離が近く、話しやすい雰囲気職場環境や生産性向上にもつながっている

社員の資格取得も積極的に支援。取得にかかる費用を会社が負担するだけでなく、資格を保有する先輩社員が講師を務める勉強会も随時開催している。「水は、人の命をつなぎ、産業活動を潤す貴重な資源。水に関する施工のプロフェッショナルとして技術を研鑽し、地域社会の進展に貢献したい」と語る三澤社長。当たり前「の日常を守る——そんな強い使命感と誇りを持って、アクアシテムの社員は走り続ける。

管工事から施設工事まで 水に関わる幅広い事業を展開

水道工事は大きく二つに分かれる。一つは、水源からの取水や配水、飲用に処理(浄水)などを行う設備を設置する水道施設工事。そしてもう一つが、給水所から配水区域に水を送るための配管工事だ。一般住宅やオフィスなどでの水トラブルに対応するのは、後者の管工事会社となる。当初、個人宅のガスや水道の配管

の中で事業規模を拡大していった。現在、業界で課題なのが水道管の老朽化だ。1950年に26・2%だった全国の水道普及率は、現在98・3%まで到達。一方、多くが法定耐用年数40年を超えているにも関わらず、マンパワー不足などで水道管の交換が追い付いていない上、国が進める耐震化も進んでいない。24年1

るを得ないことも」と漏らす。そもそも舗装を切断し、配管を交換し、再度埋め戻して舗装するには数か月から一年以上かかることも。少しでもスムーズに作業を進められるよう、現場を知る同社スタッフは設計図を見て受注者に的確な技術提案をすることも少なくない。その確かな技術力が信頼を生み、県内トップクラスの業績につながっている。



アクアシステム 株式会社

水を届ける確かな技術が 命をつなぎ、未来を拓く

27 LEADING COMPANY



アクアシステム 株式会社

事業内容

水道本管工事、プラント配管、空調・換気・消火配管、民間の上下水道工事など

創業 昭和38 (1963) 年12月10日

代表者 代表取締役 三澤 孝志

社員数 40名 (男30名 女10名)

本社 島根県安来市安来町431

電話 0854-22-3538

採用エリア (勤務地)

安来市、仁多郡、松江市

採用区分

新卒採用

キャリア採用

採用担当者からあなたへ

「この街のインフラを守る。」をスローガンに、社会になくはない重要なライフラインの整備や施工管理を行っています。地域の方々の日常を支える方を求めています。初心者の方も一から指導し、また資格取得も全力でサポートいたします。にぎやかで個性豊かな先輩社員たちが、あなたの応募をお待ちしています!!



総務部 部長
三澤 彩乃さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0854-22-3538

採用直通 E-mail

a.mizawa@aqua-sys.co.jp

公式サイトはこちら



Instagramはこちら



水に関する事業
各地で実績多数

水道管の敷設や上下水道の施設工事、大手工場のプラント配管、一般住宅の水回り工事など、水に関わるさまざまな事業を行っている。CADでの設計図作成から現場での作業まで一貫して自社で実施しており、安来市内を中心に県内各地で実績を誇る。



社内の連携強め、
高い技術力を発揮

確かな技術力を発揮・継承していくためには、社内の連携が欠かせない。他部署間でこまめに情報交換したり、先輩社員が後輩社員にアドバイスをしたりして、的確かつスピーディな業務を実現している。社員同士のコーヒープレイクタイムも貴重な時間だ。



社員が楽しめる
若手企画のレク

若手社員による企画チーム《あつもり会》が中心になって、ボウリングや果物狩り、ボルダリングなど社員向けの各種レクリエーションも積極的に開催。社員同士の仲がいいこともあって、参加率は高いという。夏に行われる「納涼会」も毎年盛り上がっている。



暮らしを支える水のプロ集団



本社 総務部 工務事務
須山 逸美さん(39)
入社11年目

総務10年の経験を経て
新たに工務事務に挑戦

入社以来10年間総務で働いていましたが、今年4月から新たに工務事務を担当しています。長年工務で働く男性社員の頑張りをを見て、自分もできるようになりたいと思ったのがきっかけです。住宅設備工事に必要な図面を的確に作成できるよう、まずはCADの練習から始めています。昨年2級管工事施工管理技士を取得したので、次の目標は1級。できることを増やしていきたいです。



本社 工務部
宇賀 博司さん(41)
入社23年目

被災地復興に一役
資格取得で仕事に幅を

能登半島地震被災地で5日間、屋外配管工事をメインに復旧作業に携わりました。材料が足りなくて修理できず、自らホームセンターを回って調達したことも。自分の技術を復興に存分に役立てられなかったことが悔しく、もどかしかったです。いろいろな仕事に関われる上、スキルアップにもなることを考え、消防設備士や土木施工管理技士1級を始め、30以上の資格を保有しています。安来市の技術者表彰もいただきました。



本社 総務部
内田 恭子さん(37)
入社4年目

体調不良の妊娠中から育児まで
会社が全面的にフォロー

結婚を機に安来市に移住し、3年前に入社。妊娠中は、仕事量や勤務時間の調整など、総務部の同僚中心に皆が全面的に応援してくれ、とても心強かったです。つわりがひどかった妊娠中や出産後の現在も、フォローをいただきつつ、気持ちよく働かせてもらっています。育休中に建設業経理士の資格を自主的に取得。新たに得た知識を生かし、会社や地域の役に立ちたいです。



松江支店 工務部
石飛 和孝さん(28)
入社10年目

水関係の調子を整える
“水のドクター”

メイン業務は、配水管の敷設です。近年需要が高いのが、設置から40～50年経過した老朽管を地震に耐え得る素材や形状の管と交換する耐震化工事。重さ数百キロの管を機械で持ち上げるので、安全面に特に気を付けてミスのないよう作業しています。水漏れなど一般住宅における水の不具合にも対応。音調棒で少しずつ不良箇所を探り、原因を突き詰めて修理に当たります。“水のドクター”を自負しています(笑)。



松江支店 総務部
松井 弓佳さん(35)
入社2年目

飲食業界から転職
事務+求人・広報も担当

飲食業界が長く、出産後もパートで働いていましたが、子どもの成長を機に正社員職に挑戦。ハローワークで、温もり感がにじみ出ている当社の求人票に一目ぼれしました。現在は支店で台帳や日報の管理、勤怠管理などを担当するほか、SNSでの情報発信や求人活動など本社業務にも関わっています。事務未経験でしたが先輩の丁寧な指導で少しずつ自信ができました。仕事の幅をもっと広げていきたいです。



本社 工務部
山崎 慎也さん(21)
入社3年目

不具合の原因を調べ
迅速に修理・交換

一般住宅や店舗での新たな配管工事や、水漏れや凍結時の対応をしています。水を使っていないのにメーターが回っているなど、水漏れ箇所が分からない時も少なくありません。床下点検口から地下に入り、配管をたどっていきながら原因を突きとめます。狭い場所での調査や交換作業は大変ですが、お客様から感謝された時はうれしいですね。休日は、社員同士で遊びに行くことも多いです!



年に2回、社員全員で
中海清掃ボランティア

年に2回、社員全員で中海清掃活動を実施。16年前から続ける地域貢献活動で、毎回約2時間、海岸でゴミを拾い、中海のクリーン化に一役買っている。各支社からも集まるため、社員間のコミュニケーションにも役立っているという。



技術研鑽や社員交流を
若手チームが自主企画

若手企画チーム《あつもり会》では、社員間のコミュニケーションを深めながら互いにスキルアップを図ろうと、同僚の作業現場の見学や資格取得のサポート講習会などを積極的に立案。ボトムアップ型の活動が社内の活発化につながっている。